

## 第4回 南砺市文化財保存活用地域計画協議会

日時 令和4年10月19日(水)

14:00～

場所 南砺市役所 別館大ホール

### 1. 会長あいさつ

### 2. 報告事項

(1) 市民アンケートについて (資料1)

### 3. 協議事項

(1) 骨子案について (資料2)

(2) 関連文化財群について (資料2)

(3) 関連文化財群の構成文化財について (資料2)

(4) 措置一覧表について (資料2)

(5) 今後のスケジュールについて (資料2)

### 4. その他 (事務連絡)

南砺市文化財保存活用地域計画協議会 委員名簿

区分	名前 (各区分五十音順)	分野	役職
会長	まくち けんさく 菊池 健策	文化財	東京文化財研究所客員研究員
副会長	うえの さちお 上野 幸夫	文化財修復	富山国際職藝学院教授 南砺市文化財保護審議会委員
有識者	すぎさき たかひで 杉崎 貴英	文化財	帝塚山大学教授 南砺市文化財保護審議会委員
	ながせ せつじ 永瀬 節治	都市計画・観光	和歌山大学准教授 南砺市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員
	にしい たつよし 西井 龍儀	考古学	富山考古学会理事 南砺市文化財保護審議会委員
	やすかがわ けいこ 安力川 恵子	民俗学	富山県文化財保護審議会委員 南砺市文化財保護審議会委員
	わたなべ ひとみ 渡邊 一美	美術工芸	福光美術館学芸員
文化財所有者	なかしま しんいち 中島 慎一	文化財所有者	世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」 所有者 菅沼区長
	やまざき ひろし 山崎 博司	文化財所有者	世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」 所有者 相倉区長
	やました しげき 山下 茂樹	文化財団体	ユネスコ無形文化遺産「城端神明宮祭の曳山行事」関係 団体 城端曳山保存会事務局長
観光	なかだい みやこ 中臺 雅子	観光	ベットアンドクラフト宿泊マネージャー
	このお はるかず 此尾 治和	観光	一般社団法人南砺市観光協会専務理事
行政	おおはし まこと 大橋 誠	行政	交流観光まちづくり課長
	やまみち ひさのり 山道 久功	行政	建設整備課長
	よしだ まなぶ 吉田 学 いけだ けいこ 代：池田 恵子	行政	富山県教育委員会生涯学習・文化財室長
事務局	いわさ たかし 岩佐 崇		ブランド戦略部長
	うえの よしお 上野 容男		文化・世界遺産課長
	さとう せいこ 佐藤 聖子		文化・世界遺産課 世界遺産・文化財係長
	みやざき じゅんいちろう 宮崎 順一郎		文化・世界遺産課 世界遺産・文化財係
	さかもと ひでただ 坂本 秀忠		文化・世界遺産課 世界遺産・文化財係
	あさの かつのり 浅野 克典		文化・世界遺産課 世界遺産・文化財係
	にしもり なぎ 西盛 凧		文化・世界遺産課 世界遺産・文化財係
	ながしま せいごう 長島 正剛		文化・世界遺産課 世界遺産・文化財係

## 「南砺市文化財保存活用地域計画」作成に関する アンケート調査のご協力について（お願い）

南砺市には250件を超える指定等文化財があります。文化財には建造物、彫刻、絵画、工芸品や古文書などの有形文化財や地域に受け継がれている伝統行事、祭礼、民謡、芸能などの無形の文化財、史跡・名勝・天然記念物などがあり、それぞれが地域特有のものとして貴重な価値を持っています。これらの貴重な文化財を保存継承し、観光やまちづくりなどの要素として活用するため、南砺市では「南砺市文化財保存活用地域計画」を令和3年度から5年度までの3年間で作成することといたしました。

この計画は、文化財の保存活用のための具体的な取組みを明示し、計画的・継続的に進めるためのもので、文化財の専門家や観光関係者など様々な関係者が参画する地域総がかりの計画となります。

このアンケートは満18歳以上の市民から1,500人の方を無作為に選ばせていただき、南砺市の文化財に関する市民のみなさまの関心や、市の文化財に関する課題や取り組みなどについて回答をお願いするものです。アンケートは無記名で回答していただき、統計的に集計を行います。個人の情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはございませんので、率直なお意見をお書きください。

また、このアンケートは地域に埋もれている身近で大切な「たからもの」＝未指定文化財を掘り起こすことも目的としています。地域で大切にしてきた「たからもの」について、建物、場所、道具、伝統行事、風景、食文化などなんでも構いませんので、ぜひ教えていただきたくよろしくお願ひいたします。

ご協力をよろしくお願ひいたします。

### < 記入にあたってのお願い >

- 封筒のあて名となっているご本人が、お答えくださいますようお願いいたします。
- 回答は、用意された項目の中からあてはまるものを選んで、その番号を○で囲んでいただくものがほとんどですが、文字で記入していただくものもあります。
- 記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ**10月10日（月）まで**にポストへ投函してください。
- ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。
- アンケート調査結果は「南砺市文化財保存活用地域計画」に記載する予定です。なおアンケートは「南砺市文化財保存活用地域計画」のための調査以外には使用しません。

### < このアンケートについてのお問い合わせ先 >

南砺市役所 文化・世界遺産課  
電話 0763-23-2014

## はじめに、あなた自身について伺います。

問1 あなたの性別についてお伺いします。【いずれかに○】

- |       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答したくない |
|-------|-------|------------|

問2 あなたの年齢についてお伺いします。【いずれかに○】

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70歳以上  |           |

問3 あなたのお住いの地域をお伺いします。【いずれかに○】

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 福野地域 | 2. 井波地域 | 3. 城端地域 | 4. 福光地域 |
| 5. 平地域  | 6. 上平地域 | 7. 利賀地域 | 8. 井口地域 |

## 次に、南砺市の文化財について伺います。

問4 南砺市の文化財に関心がありますか。【いずれかに○】

- |          |                  |
|----------|------------------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. 関心がない | 4. どちらかといえば関心がない |

⇒ 問5へ（1、2に○をつけた方）

⇒ 問6へ（3、4に○をつけた方）

●問5は、問4で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した方にお尋ねします。

問5 あなたが関心のある南砺市の文化財は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- |                |                   |                            |
|----------------|-------------------|----------------------------|
| 1. お寺・住宅などの建造物 | 2. 工芸品や絵画・古文書     | 3. 名勝                      |
| 4. 仏像等の彫刻      | 5. 祭り・行事・伝統芸能     | 6. 天然記念物                   |
| 7. 町並み・集落などの景観 | 8. 特産品・食文化        | 9. 暮らしの文化                  |
|                | (例：かぶらずし、福光バットなど) | (例：生活・生産用具、<br>信仰に関するものなど) |
| 10. 古墳などの遺跡    | 11. その他（          | ）                          |

●問6は、問4で「関心がない」「どちらかといえば関心がない」と回答した方にお尋ねします。

問6 あなたが南砺市の文化財に関心がないのはなぜですか。【あてはまるものすべてに○】

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 難しくて分かりにくいから  | 2. どんなものがあるか知らないから |
| 3. 歴史が好きではないから   | 4. イメージが暗いから       |
| 5. 自分の生活に影響がないから | 6. 新しいものの方が好きだから   |
| 7. その他（          | ）                  |

## 問7 南砺市の指定文化財等をいくつかご存じですか。

凡例にならい、下記に続く「指定文化財一覧表」の一番左「〇欄」に「〇」をつけてください。

## 凡例

見たことがある、よく知っている、または実際に見たことはないが 名前は知っている、イメージできないが存在は知っているもの	⇒ 「〇」を記入
知らない	⇒ 無記入

下記「指定文化財一覧表」は旧町村ごとに並んでいます。文化財の番号は、  
同梱の「指定文化財ガイドマップ」の番号と一致していますので、併せてご参照ください。

〇欄	地域	No	指定別	文化財の種類別	名 称	所在地	指定年
	城端	9	国	無形民俗文化財	城端神明宮祭の曳山行事	城端	平成 14 年
	城端	19	県	建造物	城端別院善徳寺（本堂・山門・鐘楼・太鼓楼）	城端 405 善徳寺	平成 5 年
	城端	27	県	工芸品	彩漆鯨模様手付盃盆	城端	昭和 40 年
	城端	29	県	書跡古文書	城端別院善徳寺文書	城端 405 善徳寺	昭和 58 年
	城端	30	県	歴史資料	善徳寺宝物	城端 405 善徳寺	昭和 54 年 昭和 55 年（員数変更）
	城端	32	県	有形民俗文化財	善徳寺宝物	城端 405 善徳寺	昭和 55 年
	城端	37	県	天然記念物	赤祖父石灰華生成地	東西原	昭和 40 年
	城端	38	県	天然記念物	蠟山越の彼岸桜自生地	蕨谷蠟山	昭和 40 年
	城端	39	県	天然記念物	縄が池みずばしょう群生地	蕨谷山	昭和 40 年
	城端	40	県	天然記念物	鉢伏のなしのき	杉山	昭和 40 年
	城端	43	市	建造物	善徳寺	城端 405 善徳寺	昭和 41 年
	城端	50	市	建造物	熊野神社本殿	細野丸塚 215 熊野神社	昭和 57 年
	城端	51	市	建造物	教念寺本堂「向拝」	城端 369 教念寺	昭和 62 年
	城端	55	市	絵画	荒木直暢自画像	城端図書館	昭和 43 年
	城端	56	市	絵画	小原治五右衛門稀雄自画像	城端図書館	昭和 49 年
	城端	60	市	絵画	蝦夷征伐・牛の尾を引く図・八島の合戦絵図	城端 1668 城端神明宮	昭和 58 年
	城端	62	市	絵画	弁財天、大黒天、毘沙門天図・二祖対面図	細野丸塚 215 熊野神社	昭和 61 年
	城端	77	市	彫刻	本殿神門並玉垣欄間	城端 1668 城端神明宮	昭和 61 年
	城端	78	市	彫刻	聖観世音菩薩立像・薬師如来坐像・御神像・狛犬一對	細野丸塚 215 熊野神社	昭和 61 年
	城端	79	市	彫刻	狛犬木鼻	城端 1668 城端神明宮	昭和 61 年
	城端	80	市	彫刻	教念寺本堂「欄間」	城端 369 教念寺	昭和 62 年
	城端	88	市	工芸品	善徳寺唐金燈籠	城端 405 善徳寺	昭和 41 年
	城端	89	市	工芸品	善徳寺梵鐘	城端 405 善徳寺	昭和 41 年
	城端	90	市	工芸品	渾天儀	城端図書館	昭和 43 年
	城端	91	市	工芸品	城端焼水差	城端曳山会館	昭和 49 年
	城端	92	市	工芸品	桔梗形乾漆椀	城端	昭和 49 年
	城端	93	市	工芸品	鶏に花籠蒔絵硯箱	城端図書館	昭和 49 年
	城端	95	市	工芸品	神輿	城端 1668 城端神明宮	昭和 54 年
	城端	96	市	工芸品	庵屋台	城端 1668 城端神明宮	昭和 54 年
	城端	97	市	工芸品	瓶子	城端 1668 城端神明宮	昭和 58 年

## 資料 1

○欄	地域	No	指定別	文化財の種類別	名 称	所在地	指定年
	城端	98	市	工芸品	阿弥陀如来立像・十一面観世音菩薩坐像	細野丸塚 215 熊野神社	昭和 61 年
	城端	105	市	書跡	路通城端十景	城端図書館	昭和 49 年
	城端	106	市	典籍	西村太冲著 符天曆(2)・実符曆(3) その他蔵書	城端図書館	昭和 43 年
	城端	111	市	古文書	組中人々手前品々覚書帳	城端図書館	昭和 41 年
	城端	117	市	古文書	城端町絵図	城端図書館	昭和 49 年 平成 18 年 (種別名称変更)
	城端	118	市	古文書	顕如書状	城端 1030	昭和 49 年 平成 18 年 (種別名称変更)
	城端	119	市	古文書	畑文書	城端図書館	昭和 49 年
	城端	122	市	古文書	諸役人交代記	城端図書館	昭和 60 年
	城端	140	市	歴史資料	大神宮の額	城端 1668 城端神明宮	昭和 54 年 平成 18 年 (種別変更)
	城端	143	市	歴史資料	元禄三年奉納文(寄進札)	細野丸塚 215 熊野神社	昭和 61 年
	城端	146	市	歴史資料	七面天女(吉祥天)像	信末 100 住吉神社	平成 6 年
	城端	154	市	無形民俗文化財	城端千代音加礼	城端	平成 15 年
	城端	186	市	史跡	上見城跡	上見	昭和 43 年
	城端	191	市	史跡	芭蕉塚	城端 85-1	昭和 49 年
	城端	192	市	史跡	西原遺跡	西原・野口・金戸	昭和 49 年
	城端	206	市	名勝	善徳寺の庭園	城端 405	平成 2 年
	城端	207	市	名勝	専徳寺の庭園	金戸 107	平成 2 年
	城端	208	市	名勝	夫婦滝	林道字大滝 3・4	平成 2 年
	城端	221	市	天然記念物	林道の炭酸孔	林道大林	昭和 43 年
	城端	225	市	天然記念物	山田郷総社神明宮の大杉	是安 1345	昭和 63 年
	城端	226	市	天然記念物	水月寺の江戸彼岸桜	城端 963	昭和 63 年
	城端	227	市	天然記念物	城端神明宮社叢	城端 1668	昭和 63 年
	城端	228	市	天然記念物	善徳寺境内林	城端 405	昭和 63 年
	城端	236	市	天然記念物	大滝山ブナ原生林	林道字大滝 3~8	平成 2 年
	城端	242	市	天然記念物	城端野下のコシノヒガンザクラ(越村型原木)	城端	平成 29 年
	城端	247	登録	登録有形文化財	城端織物組合事務棟	城端 648-1	平成 12 年
	城端	252	登録	登録有形文化財	じょうはな庵	城端	平成 27 年
	城端	253	登録	登録有形文化財	旧大鋸屋小学校体育館	大鋸屋 125 ほか	平成 27 年
	城端	254	登録	登録有形文化財	荒町庵(旧米田楼)	城端	平成 29 年
	城端	257	登録	登録有形文化財	桂湯	城端	令和元年
	城端 平	196	市	史跡	旧五箇山街道峠道	若杉・梨谷・相倉・上梨・高草 嶺・杉尾	昭和 58 年・平成 13 年 平成 18 年(統合)
	平	2	国	建造物	白山宮本殿	上梨 654	昭和 33 年
	平	3	国	建造物	村上家住宅	上梨	昭和 33 年
	平	4	国	建造物	羽馬家住宅	田向	昭和 33 年
	平	10	国	史跡	越中五箇山相倉集落	相倉	昭和 45 年
	平	16	県	建造物	五箇山の念仏道場	寿川 444	昭和 61 年
	平	31	県	有形民俗文化財	流刑小屋	田向 312-2	昭和 40 年
	平	53	市	建造物	圓浄寺鐘楼堂	上梨字家平 758 圓浄寺	平成元年
	平	81	市	彫刻	木造親鸞聖人座像	大島 636 称名寺	平成元年
	平	82	市	彫刻	木造阿弥陀如来立像	下梨 2495-1 瑞願寺	平成元年

## 資料 1

○欄	地域	No	指定別	文化財の種類別	名 称	所在地	指定年
	平	83	市	彫刻	木造獅子頭	籠渡禿口 1	平成元年
	平	128	市	古文書	田向区有古文書	田向	平成 13 年
	平	131	市	古文書	瑞願寺文書	下梨 2495-1 瑞願寺	平成元年
	平	147	市	歴史資料	白山宮信仰関係資料	上梨	令和元年
	平	152	市	無形民俗文化財	下梨御巡幸の儀	下梨	平成 13 年
	平	155	市	無形民俗文化財	下梨の節供行事	下梨	平成元年
	平	201	市	史跡	大槻伝蔵之碑	祖山熊野神社境内	平成 13 年
	平	202	市	史跡	コレラ病死者の石碑	田向大平 162 番地	平成 13 年
	平	204	市	史跡・名勝・天然記念物	人形山と宮屋敷	上梨字奥山上・田向字人形山	平成 13 年
	平	209	市	名勝・天然記念物	遠洞溪谷	上梨・田向	平成 13 年
	平	210	市	名勝・天然記念物	天柱石	上松尾字奥山 10	平成元年
	平	211	市	名勝・天然記念物	猫池とその周辺	高草嶺・夏焼二か村入会字洞口 2-1	平成元年
	平	212	市	名勝・天然記念物	中江の霊水	東中江字中平 529	平成元年
	平	232	市	天然記念物	相倉の夫婦けやき	相倉	平成元年
	平	233	市	天然記念物	渡原の大栃	渡原	平成元年
	平	234	市	天然記念物	杉尾神明社の門杉と櫨	杉尾字中原 74	平成元年
	平	235	市	天然記念物	高草嶺の大杉	高草嶺字荒屋口 962	平成元年
	平	243	選定	重要伝統的建造物群保存地区	南砺市相倉伝統的建造物群保存地区	相倉	平成 6 年
	平	255	登録	登録有形文化財	白山宮鞘堂	上梨字家平 713 番地 714 番地、715 番地 2	平成 30 年
	上平	1	国	建造物	岩瀬家住宅	西赤尾町	昭和 33 年
	上平	11	国	史跡	越中五箇山菅沼集落	菅沼	昭和 45 年
	上平	17	県	建造物	羽馬家住宅	小瀬	平成 10 年
	上平	18	県	建造物	旧上中田念仏道場	小原尻崎 14	平成 10 年
	上平	44	市	建造物	行徳寺の山門と庫裡	西赤尾町字村中 行徳寺	昭和 44 年
	上平	45	市	建造物	皆葎住吉神社奥殿	皆葎萩平	昭和 45 年
	上平	68	市	彫刻	西赤尾八幡社のご神体一群及びびこま犬二番	西赤尾町字村中 西赤尾八幡社	昭和 44 年
	上平	72	市	彫刻	乙剣社の御神体	小原字宇山 486	昭和 48 年
	上平	73	市	彫刻	聖光寺の太子像	楮 聖光寺	昭和 48 年
	上平	113	市	古文書	十日講起請文	上平細島	昭和 44 年
	上平	114	市	古文書	成政の制札	真木	昭和 44 年
	上平	116	市	古文書	血染の名号	漆谷	昭和 48 年
	上平	150	市	無形民俗文化財	五箇山民謡		昭和 48 年
	上平	222	市	天然記念物	東赤尾の夫婦杉	東赤尾横平 114	昭和 44 年
	上平	244	選定	重要伝統的建造物群保存地区	南砺市菅沼伝統的建造物群保存地区	菅沼	平成 6 年
	上平・平利賀	245	選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	五箇山の歌と踊		昭和 48 年
	利賀	13	国	天然記念物	脇谷のトチノキ	利賀村栗当字脇谷 244	大正 15 年
	利賀	25	県	彫刻	僧形八幡神像	利賀村大豆谷 158	昭和 47 年
	利賀	34	県	無形民俗文化財	利賀の初午行事	利賀村	平成 16 年
	利賀	41	県	天然記念物	坂上の大杉	利賀村坂上 731 八幡宮	昭和 42 年
	利賀	61	市	絵画	絹本着色阿弥陀如来来迎図	利賀市民センター	昭和 61 年

## 資料 1

○欄	地域	No	指定別	文化財の種類別	名 称	所在地	指定年
	利賀	69	市	彫刻	入谷の不動明王坐像	利賀村百瀬川字東山 111	昭和 45 年
	利賀	70	市	彫刻	栗当の不動明王磨崖像	利賀村栗当 13-1	昭和 45 年
	利賀	84	市	彫刻	大豆谷八幡宮の小神像・隨身像及び狛犬	利賀村大豆谷 158	平成 4 年
	利賀	85	市	彫刻	細島熊野社の旧御神体	利賀村細島 235	平成 4 年
	利賀	123	市	古文書	五ヶ山両組草高免附百姓数品々帳	利賀市民センター	昭和 61 年
	利賀	124	市	古文書	南大豆谷村土地文書	利賀村大豆谷	昭和 61 年
	利賀	148	市	有形民俗文化財	阿別当の石仏	利賀村阿別当西山 5	昭和 45 年
	利賀	187	市	史跡	五谷山西勝寺	利賀村坂上 1269	昭和 45 年
	利賀	188	市	史跡	栃原念仏道場跡	利賀村栃原	昭和 45 年
	利賀	189	市	史跡	大野権兵衛の塚	利賀村上百瀬字西山 123	昭和 45 年
	利賀	238	市	天然記念物	坂上のカツラ	利賀村坂上東山	平成 4 年
	利賀	239	市	天然記念物	阿別当神明宮の石抱きケヤキ	利賀村阿別当 15	平成 4 年
	利賀	240	市	天然記念物	細島熊野社の社叢	利賀村細島 235	平成 4 年
	利賀	246	選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	利賀のはつうま行事 (No. 34 と同じ行事)	利賀村	昭和 57 年
	井波	7	国	書跡	紙本墨書緯如上人勸進状	井波 3050 瑞泉寺	明治 38 年
	井波	8	国	書跡	紙本墨書後花園天皇宸翰御消息	井波 3050 瑞泉寺	昭和 13 年
	井波	12	国	史跡	高瀬遺跡 (石仏地区)	高瀬 736	昭和 47 年
	井波	14	県	建造物	瑞泉寺山門	井波 3050 瑞泉寺	昭和 40 年
	井波	22	県	彫刻	木造阿弥陀如来立像	井波 3050 瑞泉寺	昭和 40 年
	井波	35	県	史跡	高瀬遺跡 (穴田地区)	高瀬	昭和 47 年
	井波	42	市	建造物	井波別院瑞泉寺	井波 3050 瑞泉寺	昭和 30 年・昭和 41 年 平成 16 年・平成 18 年 (統合)
	井波	52	市	建造物	井波の蚕堂	井波 3057	平成 15 年
	井波	75	市	彫刻	木造十一面観世音菩薩立像	井波 3062 常永寺	昭和 55 年
	井波	76	市	彫刻	木造阿弥陀如来立像	高屋	昭和 55 年
	井波	86	市	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	井波	平成 30 年
	井波	100	市	書跡	新築芭蕉翁之塚文	井波図書館	昭和 32 年
	井波	101	市	書跡	芭蕉書翰	井波図書館	昭和 32 年
	井波	102	市	書跡	羽柴秀吉禁制朱印状	井波 3050 瑞泉寺	昭和 41 年
	井波	103	市	書跡	浪化上人司農樓之記	井波 3050 瑞泉寺	昭和 41 年
	井波	112	市	古文書	親鸞絵像・裏書	井波 3050 瑞泉寺	昭和 41 年 平成 18 年 (統合)
	井波	129	市	古文書	庄川流木の二代・三代藩主の制札	井波図書館	平成 14 年
	井波	130	市	古文書	井波町肝煎文書	井波図書館	平成 16 年
	井波	139	市	考古資料	御物石器ほか 2 点	高瀬 291	平成 10 年
	井波	142	市	歴史資料	栃原念仏道場什物	安室 32	昭和 61 年 平成 18 年 (種別名称変更)
	井波	156	市	史跡	井波城址	松島東島 188	昭和 30 年
	井波	157	市	史跡	翁塚並びに黒髪庵	井波 3611	昭和 30 年
	井波	158	市	史跡	大谷廟	井波 2630	昭和 30 年
	井波	159	市	史跡	臼浪水	井波 3059	昭和 30 年
	井波	160	市	史跡	瑞泉寺	井波 3050 瑞泉寺	昭和 30 年
	井波	180	市	史跡	杉谷峠と大杉	井波外四入会字大橋平	昭和 41 年

## 資料 1

○欄	地域	No	指定別	文化財の種別	名 称	所在地	指定年
	井波	181	市	史跡	大学寮勸学院田跡	高瀬 135	昭和 41 年
	井波	182	市	史跡	八乙女山鶏塚と風穴	大谷字大平	昭和 36 年
	井波	183	市	史跡	八乙女山頂の古戦場及び大杉	大谷字大平	昭和 41 年
	井波	184	市	史跡	高瀬神社	高瀬 370	昭和 41 年
	井波	185	市	史跡	諏訪川原及び大杉	井波 2323	昭和 41 年
	井波	219	市	天然記念物	栢原峠の大杉	大谷字大平	昭和 41 年
	井波	220	市	天然記念物	松島大杉	井波 3060	昭和 41 年
	井波	230	市	天然記念物	飛驒屋の皂（サイカチ）	飛驒屋 1	平成 10 年
	井波	231	市	天然記念物	院瀬見のエドヒガン	院瀬見字西山	平成 15 年
	井波	249	登録	登録有形文化財	井波町物産展示館（旧井波駅舎）	北川 86	平成 8 年
	井波	251	登録	登録有形文化財	齋賀家住宅	井波八日町 3036 番地ほか	平成 26 年
	井口	36	県	天然記念物	柳谷の天然福寿草自生地	川上中柳谷島	昭和 40 年
	井口	136	市	考古資料	池尻中世石塔群	池尻 209	昭和 61 年 平成 18 年（種別変更）
	井口	144	市	歴史資料	井口神明宮板碑と覆屋	井口 263 神明宮	昭和 62 年 平成 18 年（種別名称変更）
	井口	198	市	史跡	井口城址	池尻 3 他	平成 4 年
	井口	237	市	天然記念物	丸山の大ユキバツバキ	井口字丸山 3	平成 4 年
	井口	258	登録	登録有形文化財	赤祖父円筒分水槽	上中寺山 1 番 19、1 番 21	令和 2 年
	福野	5	国	建造物	旧富山県立農学校本館（福野高校蔵浄閣）	苗島 443	平成 9 年
	福野	6	国	彫刻	木造聖観音立像	安居 4941 安居寺	大正 15 年
	福野	15	県	建造物	安居寺観音堂	安居 4941 安居寺	昭和 46 年
	福野	20	県	絵画	安居寺の絵馬	安居 4941 安居寺	昭和 40 年
	福野	21	県	絵画	北野社頭阿国歌舞伎図	福野 1801 福野神明社	昭和 47 年
	福野	23	県	彫刻	木造聖観世音菩薩立像	安居 4941 安居寺	昭和 40 年
	福野	24	県	彫刻	石造地藏菩薩半跏像	安居 4941 安居寺	昭和 40 年
	福野	26	県	彫刻	木造見返阿弥陀如来立像	安居 4941 安居寺	昭和 49 年
	福野	28	県	工芸品	安居寺の慶長四年在銘石燈籠	安居 4941 安居寺	昭和 49 年
	福野	33	県	無形民俗文化財	福野の夜高祭	福野	平成 16 年
	福野	46	市	建造物	恩光寺山門	福野 1803 恩光寺	昭和 46 年
	福野	47	市	建造物	安居寺仁王門	安居 4941 安居寺	昭和 46 年
	福野	54	市	絵画	慶長在銘彩色絵馬	安居 4941 安居寺	昭和 39 年
	福野	66	市	彫刻	木造阿弥陀如来立像	本江 242 円養寺	昭和 39 年
	福野	67	市	彫刻	石武雄神社の懸佛	野尻 711 岩武雄神社	昭和 39 年
	福野	71	市	彫刻	安居寺古仁王立像	安居 4941 安居寺	昭和 46 年
	福野	74	市	彫刻	金銅聖観世音菩薩立像	高堀 232 善證寺	昭和 51 年
	福野	87	市	工芸品	神明社の俳句額	福野 1801 福野神明社	昭和 37 年
	福野	99	市	工芸品	安居寺鰐口	安居 4941 安居寺	平成 6 年
	福野	109	市	典籍	古活字版「無量寿経論註記」	上川崎 48	平成 12 年
	福野	115	市	古文書	片山家古文書	江田	昭和 46 年
	福野	120	市	古文書	安居寺古文書	安居 4941 安居寺	昭和 55 年
	福野	121	市	古文書	藩政期の福野町絵図及び巡見上使宿舎絵図	福野図書館	昭和 58 年

## 資料 1

○欄	地域	No	指定別	文化財の種類別	名 称	所在地	指定年
	福野	127	市	古文書	実如書状	上川崎 48 高参寺	平成 9 年 平成 18 年 (種別名称変更)
	福野	132	市	古文書	山田家古文書	福野図書館	平成 4 年
	福野	133	市	古文書	南家七村入会山文書	福野図書館	平成 5 年
	福野	135	市	考古資料	安居地区出土品	福光文化財センターほか	昭和 37 年
	福野	145	市	歴史資料	福野神明社遷座祭祝詞	福野 1801 福野神明社	平成 3 年 平成 18 年 (種別名称変更)
	福野	149	市	有形民俗文化財	福野神明社春季祭礼曳山	福野	平成 16 年
	福野	161	市	史跡	御陵山	安居 4941 安居寺	昭和 33 年 平成 18 年 (名称変更)
	福野	162	市	史跡	地蔵林	安居 4733	昭和 33 年
	福野	163	市	史跡	三本松	安居 510	昭和 33 年
	福野	164	市	史跡	柴田屋古館跡	柴田屋 271	昭和 33 年
	福野	165	市	史跡	憩息の松跡	二日町 2003	昭和 33 年
	福野	166	市	史跡	御馬の松跡	福野 206	昭和 33 年
	福野	172	市	史跡	滝寺跡	滝寺 2550-1	昭和 37 年
	福野	173	市	史跡	石黒墳墓	安居字口	昭和 37 年
	福野	174	市	史跡	高瀬神社御旅所跡	江田 182	昭和 37 年
	福野	175	市	史跡	夫婦岩・皇孫塚	寺家	昭和 37 年
	福野	176	市	史跡	寺家新屋敷古館跡	やかた 231 ほか	昭和 37 年
	福野	190	市	史跡	野尻城跡	野尻 850 ほか	昭和 46 年
	福野	193	市	史跡	烏堂跡	本江 2730	昭和 53 年
	福野	195	市	史跡	田屋川原古戦場	田屋 255 ほか	昭和 56 年
	福野	213	市	天然記念物	ツナギガヤの木	田尻	昭和 33 年
	福野	214	市	天然記念物	モチの木	福野 1803	昭和 33 年
	福野	215	市	天然記念物	アベマキ林	安居寺公園一帯	昭和 33 年
	福野	218	市	天然記念物	大ケヤキ	安居 4941	昭和 37 年
	福野	248	登録	登録有形文化財	富田家住宅 (住宅・味噌倉・南土蔵・北土蔵・長屋門)	安居	平成 16 年 (住宅) 令和 元年 (味噌倉・南土蔵・北土蔵・長屋門)
	福光	48	市	建造物	旧高宮医院 (光龍館)	高宮 1	昭和 54 年 平成 18 年 (名称変更)
	福光	49	市	建造物	樋瀬戸の念仏道場	樋瀬戸	昭和 54 年
	福光	57	市	絵画	猛虎図	福光 6865 福光宇佐八幡宮	昭和 49 年
	福光	58	市	絵画	白孔雀	福光 6865 福光宇佐八幡宮	昭和 49 年
	福光	59	市	絵画	四天雄飛の図	福光美術館	昭和 54 年
	福光	63	市	絵画	絹本着色来迎阿弥陀如来絵像	高宮 880 随順寺	昭和 62 年
	福光	64	市	絵画	絹本着色雲上阿弥陀如来三尊絵像	高宮 880 随順寺	昭和 62 年
	福光	65	市	彫刻	聖観世音菩薩立像	和泉 富士社	昭和 34 年
	福光	94	市	工芸品	坂本焼 (ほしげ焼)	福光	昭和 54 年
	福光	104	市	書跡	石崎柳土連句軸	中央図書館	昭和 44 年 平成 18 年 (種別変更)
	福光	107	市	典籍	桃盗人 上・下	中央図書館	昭和 44 年 平成 18 年 (種別名称変更)
	福光	108	市	典籍	山琴集 上・下	福光	昭和 54 年 平成 18 年 (種別名称変更)
	福光	110	市	古文書	天寧庵制札	荒木 5556	昭和 35 年
	福光	125	市	古文書	砂子坂末寺之覚帳	法林寺 308 光徳寺	昭和 62 年
	福光	126	市	古文書	蓮如書状	法林寺 308 光徳寺	昭和 62 年 平成 18 年 (種別名称変更)

## 資料 1

○欄	地域	No	指定別	文化財の種類別	名 称	所在地	指定年
	福光	134	市	考古資料	竹林遺跡の土偶	福光文化財センター	昭和 36 年
	福光	137	市	考古資料	石槍	福光文化財センター	昭和 63 年
	福光	138	市	考古資料	須恵器の俵壺	福光文化財センター	昭和 63 年
	福光	141	市	歴史資料	一味神水の器	才川七	昭和 54 年 平成 18 年 (名称変更)
	福光	151	市	無形民俗文化財	福光ちよんがれ	福光地方一帯	平成 10 年
	福光	153	市	無形民俗文化財	荒木のねつおくり	荒木地区	平成 15 年
	福光	167	市	史跡	記塚と出土品	岩木	昭和 34 年 平成 18 年 (名称変更)
	福光	168	市	史跡	福光城址栖霞園	福光 4948	昭和 34 年
	福光	169	市	史跡	朴坂峠	坂本	昭和 35 年 平成 18 年 (種別変更)
	福光	170	市	史跡	土山御坊跡	土山	昭和 36 年 平成 18 年 (名称変更)
	福光	171	市	史跡	善法寺法印の墓	岩安	昭和 36 年
	福光	177	市	史跡	最勝寺跡	西勝寺	昭和 37 年
	福光	178	市	史跡	竹林遺跡	竹林	昭和 37 年
	福光	179	市	史跡	人母シモヤマ遺跡	人母	昭和 37 年
	福光	194	市	史跡	時衆吉江道場跡	田中	昭和 54 年 平成 18 年 (名称変更)
	福光	197	市	史跡	香城寺惣堂遺跡	香城寺	平成 3 年 平成 18 年 (名称変更)
	福光	199	市	史跡	正権寺跡	才川七袋谷	平成 7 年
	福光	200	市	史跡	次郎右衛門堂	立野原西 646	平成 7 年
	城端 福光	203	市	史跡	立野原監的壕	立野原東丸山 1769 番地 6 立野原西 3300 番地	平成 26 年
	福光	205	市	名勝	長瀬峡	中河内	昭和 34 年
	福光	216	市	天然記念物	巴塚の松	福光 1194-2	昭和 34 年
	福光	217	市	天然記念物	医王山のソロバン玉石	医王山	昭和 36 年
	福光	223	市	天然記念物	砂子谷の大杉	砂子谷	昭和 47 年
	福光	224	市	天然記念物	才川七のつなぎがや	才川七 1257	昭和 47 年
	福光	229	市	天然記念物	広谷の大杉	広谷	昭和 63 年
	福光	241	市	天然記念物	高師小僧	岩木北谷島	平成 9 年
	福光	250	登録	登録有形文化財	松風樓	福光字川原 7471 番地 5	平成 26 年
	福光	256	登録	登録有形文化財	吉江地区招魂社 (旧吉江小学校奉安殿)	荒木 725	令和元年
	(城端)	260	県	考古資料	ウワダイラ I 遺跡出土品 (南砺市上原) ナイフ形石器 9 点、局部磨製石斧 1 点、石核 4 点	富山県茶屋町 206-3 富山県埋蔵文化財センター	平成 29 年
	(福光)	261	県	考古資料	立美遺跡出土品 (南砺市立野新) 尖頭器 3 点、搔器 3 点、削器 2 点、鏝型石器 1 点	富山県茶屋町 206-3 富山県埋蔵文化財センター	平成 29 年

260 (ウワダイラ I 遺跡出土品) と 261 (立美遺跡出土品) は、保管場所の関係で富山市の文化財となっており、南砺市指定文化財ではありませんが、南砺市内の遺跡から出土しましたので一覧に入れました。



# 資料 1

問 10 まだ広く一般には知られていない文化財を把握するため、文化財として指定されていなくても、あなたが「地域のお宝」として、未来に残したいと思うものがあれば教えてください。建物、もの、場所、行事、道具や家具、風景、食、伝統など何でも構いません。たとえば、

- 地域で大切にしてきた建物やもの・場所
- 昔使っていた道具や家具
- ずっと地域に伝わる食や伝統、など
- これからも伝えていきたいお話や行事
- 他の人に自慢したい美しい風景

名 称 (例：〇〇の滝)	場 所 (例：南砺市〇〇)	大切にしたい理由 (△△(歴史上の人物)も立ち寄ったといわれる 由緒があり、景色も美しい滝)

アンケートは以上です。たくさんの設問にお答えいただきありがとうございました。  
お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、**10月10日(月)までに**ポストへ投函してください。

—ご協力、ありがとうございました—

### 南砺市の歴史文化の特徴

豊かな自然・人とモノの交流・厚い信仰が相まって育まれた。

#### 自然の歴史文化

南砺市は北部の平野部と南部の山間部に分けられる。平野部は庄川と小矢部川の豊富な水源による肥沃な土地で水田地帯が広がる。市の8割を占める山間部は1,000~1,800m級の山々からなる豪雪地帯である。

#### 厳しくも豊かな自然との共生が形成した希少な集落景観－五箇山合掌造り集落と散居村－

山間部の深い谷あいのわずかな段丘上には、豪雪の気候・固有の産業・深い信仰などの風土の中で歴史文化が培われ、合掌造り家屋の集落が形成された。

水田地帯が広がる平野部では、「アズマダチ」と呼ばれる民家が点在する散村となっており、他では見られない景観を形成している。

#### さまざまな自然環境が魅せる景観と天然記念物

山間部を中心に豊かな自然環境がつくる貴重な地形・地質・植物があり、自然界の妙を今に伝える。

#### 交流の歴史文化

遥か3万年前から連綿と続く人とモノの交流が、南砺の礎を築きあげ、固有の産業とともにまちを発展させてきた。

#### 遥か太古より続く交流と暮らし

旧石器・縄文時代の石器の石材などに交流の跡がみられ、古代には東大寺に多くの荘園を寄進した有力豪族が台頭し、また荘園管理施設も置かれている。

#### 門前町・市場町と五箇山独特の産業

平野部には門前町・市場町としてまちが開かれ、峠道を通して山間部の産業が入り込み、人とモノの交流が活発化した。山間部では塩硝・和紙・養蚕業が盛んになり、町部では織物業が栄えた。



#### 信仰の歴史文化

南砺市にはさまざまな社寺仏閣が存在しており、人々の厚い信仰心が息づく文化圏を形成している。

#### 広く浸透した浄土真宗

古来よりさまざまな神仏信仰がある中で、この地に広く長く浸透したのは浄土真宗であった。浄土真宗は平野部・山間部問わず広く浸透しており、数々の寺院やその跡地などの遺構がある。越中最初の真宗一向一揆の舞台ともなる地である。

#### 信仰によって生まれた生業と文化

綽如が建立した井波瑞泉寺の再建により、井波の彫刻技術が生まれ、彫刻のまちとして発展していった。五箇山では塩硝や糸が中世より本願寺に納められていた。浄土真宗の行事には報恩講料理などの食文化も根付く。

#### 山・鉾・屋台・行燈行事をはじめとする祭礼行事

信仰の象徴として多彩な山・鉾・屋台・行燈行事が残っている。曳山などは江戸時代の町の経済力と在人の工人の技術の粋が集められた精巧・優美なものへと発展している。



### 基本目標

市民一人ひとりが、南砺文化に愛着と誇りを持てるよう、価値を損なうことなく醸成させ次世代へと継承する

### 南砺市の歴史文化 = 「南砺文化」

#### 基本理念

誇りある南砺文化の醸成

#### 文化財等の課題

##### 把握・調査・価値づけ

- ①未指定文化財を含めた歴史文化遺産の掘り起しと把握
- ②文化財、歴史文化遺産の調査研究による価値づけ

##### 保存・整備・継承

- ①文化財・歴史文化遺産を継続的に保存していく制度が不十分
- ②文化財の防災・防犯体制の確立・充実が必要
- ③文化財・歴史文化遺産の担い手、継承のための仕組みづくりが必要

##### 活用

- ①周辺自治体や地域との連携が不十分
- ②文化財・歴史文化遺産の発信力が弱い
- ③文化財が地域教育に活かされていない
- ④文化財保存活用体制の組織整備が必要

#### 基本方針

##### ①南砺文化を知る

南砺文化を把握し、調査・研究して、価値を明らかにする

- ①文化財の調査研究
- ②文化財等の指定・登録

##### ②南砺文化を守る、受け継ぐ

南砺文化を守る仕組み・制度を整えて保存継承していく

- ①文化財の管理・保存・整備・継承
- ②保存管理計画作成
- ③防災体制の整備
- ④後継者育成

##### ③南砺文化を活かす、磨く

南砺文化の価値を発信し、地域連携を深めて、活用を図り魅力を高める

- ①地域の連携強化
- ②文化財等の魅力発信
- ③地域教育への普及
- ④専門職員の配置

【計画期間】

令和6～11年度（6年間）

# 関連文化財群の設定

## 自然の歴史文化

南砺市は北部の平野部と南部の山間部に分けられる。平野部は庄川と小矢部川の豊富な水源による肥沃な土地で水田地帯が広がる。市の8割を占める山間部は1,000～1,800m級の山々からなる豪雪地帯である。

### ① 厳しくも豊かな自然との共生が形成した希少な集落景観－五箇山合掌造り集落と散居村－

山間部の深い谷あいのわずかな段丘上には、豪雪の気候・固有の産業・深い信仰などの風土の中で歴史文化が培われ、合掌造り家屋の集落が形成された。

水田地帯が広がる平野部では、「アズマダチ」と呼ばれる民家が点在する散村となっており、他では見られない景観を形成している。

### ② さまざまな自然環境が魅せる景観と天然記念物

山間部を中心に豊かな自然環境がつくる貴重な地形・地質・植物があり、自然界の妙を今に伝える。



### ① 悠久の原風景－五箇山合掌造り集落と散居村－

市の8割を占める山間部には、豪雪地帯の深い谷あいのわずかな段丘上に五箇山集落が形成されている。豪雪の気候・固有の産業・深い信仰などの風土の中で生活文化、生業が培われ、合掌造り家屋が発達してきた山村集落である。平野部と違い水田に乏しく米があまりとれない地域であったため、養蚕、塩硝づくりや和紙生産などの生業が営まれ、生活を支えてきた。合掌造り家屋はそのような生業と豪雪への対応から生まれた、茅葺きで叉首構造の急勾配の切妻屋根の建物である。合掌造り集落としては相倉・菅沼の2集落が残っている。このほか五箇山地域には合掌造り家屋が点在して残っている。

南砺の北部は平野部となっており、小矢部川・庄川の豊富な水源により水田地帯が広がっている。広大な耕作地には民家が点在する集落が形成されており、国内最大級の散居「砺波平野の散村」として知られている。家の周りに水田を確保・管理することで効率的に農作業を行うことができた。散村の屋敷地には主屋を中心として納屋・土蔵・灰小屋などがあり、それらを取り囲む屋敷林（カイニヨ）からなり、他では見られない景観を形成している。主屋は瓦葺の大きな切妻屋根の民家が多く、「アズマダチ」と呼ばれる。

南砺の平野部・山間部ともに、自然との共生により形成された集落景観が残り、希少な歴史文化遺産として現在に伝える。



### ② 南砺の自然が織りなす景勝と天然記念物の妙

南砺市は富山県の南西部に位置し、北部の平野部・南部の山間地に大別できる。南部の山間地から日本海へと流れる小矢部川と庄川により、北部の肥沃な平野部が形成されている。山間地には豊かな自然環境がつくる貴重な地形・地質・植物などがある。

市中央部から北東にかけて高清水山を中心とした高清水山地がそびえ、主に新第三紀の火山活動の安山岩類、凝灰岩や凝灰角礫岩からなっている。この地層は硬く浸食されにくいもので、庄川沿岸では急峻な地形が発達し絶壁の渓谷が形成されている。また巨大な立石で知られる天柱石も安山岩と凝灰角礫岩からできている。

市西部には医王山から南へ小矢部川の源流となる大門山に続く急峻な山岳地帯が広がる。これらの地層には流紋岩、凝灰岩や凝灰角礫岩からなり、庄川沿いと同じく深いV字の渓谷が形成されている。小矢部川上流の刀利の地層には、非常に硬い礫で多様な色がある珪石が分布し、江戸時代中期から玉細工の原石として利用された。立野原台地では鉄石英・メノウが産出し、石器に利用されている。

植生は、南の温かい地に生育する植物と北の寒い地に生息する植物とが交差する地点で、植物が多様化しており、標高800mの縄ヶ池には北方系のミズバショウ群生地、赤祖父山の麓にも北方系のフクジュソウ自生地など希少価値が高い植物が自生している。

## 交流の歴史文化

遥か3万年前から連綿と続く人とモノの交流が、南砺の礎を築きあげ、固有の産業とともにまちを発展させてきた。

### ③ 遥か太古より続く交流と暮らし

旧石器・縄文時代の石器の石材などに交流の跡がみられ、古代には東大寺に多くの荘園を寄進した有力豪族が台頭し、また荘園管理施設も置かれている。

### ④ 門前町・市場町と五箇山独特の産業

平野部には門前町・市場町としてまちが開かれ、峠道を通して山間部の産業が入り込み、人とモノの交流が活発化した。山間部では塩硝・和紙・養蚕業が盛んになり、町部では織物業が栄えた。



### ③ いにしへの遺跡が語る交流と暮らし

南砺地方における交流文化の黎明は約3万年前の旧石器時代にさかのぼる。市南部の山間地と北部の平野部の中間に位置する立野ヶ原台地から多くの旧石器が発見されており、その石材の中には青森県産のものがある。太古の人とモノの交流を示す先例となっている。縄文時代には、黒曜石の石器、ヒスイ製大珠など遠方から運ばれてきた石材が使われているほか、縄文土器の様も狭い範囲での地域性の強いもの、関東や近畿地方の影響を受けたものなど様々な交流の跡を見ることができる。古代では荘園管理施設として高瀬遺跡が富山県内の代表的な遺跡となっている。また、東大寺に多くの荘園を寄進し、同寺と密接な関係を持った利波臣志留志は、古代砺波郡を代表する有力豪族である。

このように古来より人とモノの交流を示す歴史文化遺産が色濃く残っている。



### ④ 門前町・市場町と五箇山の産業が紡いだ交流文化

中世末・近世には城端善徳寺や井波瑞泉寺の門前・市場町として城端・井波が開かれ、慶安5年には福野が町立てし、福光は寛文11年に藩の御蔵が設置され急速に成長した。これにより人とモノの交流が活発化し、南砺の町部が形成された。山間部の五箇山は近世に加賀藩下となり、年貢としてあまり穫れない米の代わりに、塩硝・和紙・養蚕などの産業で得た金銭を納めた。これら製品などの物流は五箇山と城端・井波を結ぶ道で運ばれ、五箇山旧道として残っている。五箇山の塩硝は加賀藩に直接納められ、金沢にはいくつかのルートで運ばれた。五箇山の養蚕業は、城端や井波などの織物業に卸され、町部の絹織物などが発展した。

近世以降、活発化した交流がもたらした文化が現在の南砺の基礎を形成し、古いまちなみや峠道などの旧道などに足跡をみることができる。

## 信仰の歴史文化

南砺市にはさまざまな社寺仏閣が存在しており、人々の厚い信仰心が息づく文化圏を形成している。

### ⑤ 広く浸透した浄土真宗

古来よりさまざまな神仏信仰がある中で、この地に広く長く浸透したのは浄土真宗であった。浄土真宗は平野部・山間部問わず広く浸透しており、数々の寺院やその跡地などの遺構がある。越中最初の真宗一向一揆の舞台ともなる地である。

### ⑥ 信仰によって生まれた生業と文化

緯如が建立した井波瑞泉寺の再建により、井波の彫刻技術が生まれ、彫刻のまちとして発展していった。五箇山では塩硝や糸が中世より本願寺に納められていた。浄土真宗の行事には報恩講料理などの食文化も根付く。

### ⑦ 山・鉾・屋台・行燈行事をはじめとする祭礼行事

信仰の象徴として多彩な山・鉾・屋台・行燈行事が残っている。曳山などは江戸時代の町の経済力と在人の工人の技術の粋が集められた精巧・優美なものへと発展している。



### ⑤ 南砺に根付いた信仰と歴史

南砺には古代から真言宗安居寺や高瀬神社があり、古くから信仰の対象とされていた。医王山には山岳宗教の中心地として大小の宗教施設があった。さまざまな信仰があるなかで、特に地域に根付いたのは浄土真宗であり、市域まんべんなく広がりを見せている。明徳元年(1390)本願寺5代緯如が開いた瑞泉寺をはじめとして、本願寺8代蓮如が開いた砂子坂道場から幾度の移転を経て城端に移った善徳寺、高岡の勝興寺の前身となる高木場御坊跡や土山御坊跡など越中の中核的な寺院や寺院跡が数多く残る。蓮如の教化を受けた五箇山の赤尾道宗も道場を開き真宗の布教に尽くした。また南砺は、真宗門徒が加賀守護の弾圧に対して起こした越中初の一向一揆の地でもあり、その関連遺構などが多数残っている。

浄土真宗に関する歴史文化遺産は市内至る所に残っており、報恩講など法要行事も行われ、今でも地域の人々の心のよりどころとなっているのがわかる。



### ⑥ 厚い信仰が生んだ生業・文化

南砺に広がった浄土真宗は地域の人々の厚い信仰を得ており、それによって南砺を代表する生業・文化が生まれる。井波別院瑞泉寺は江戸時代中期に火災で焼失しているが、その再建に端を発して井波彫刻が生まれた。井波彫刻は寺院欄間をはじめとする高い彫刻技術で、仏像・獅子頭・住宅欄間・曳山等彫刻にも施され、現在も受け継がれてきている。五箇山の重要な生業塩硝づくり・養蚕業は、塩硝・糸・綿として中世より本願寺に納められていた。

浄土真宗の行事には郷土料理が提供される。報恩講では報恩講料理が用意され、いとこ煮、よごし、赤かぶの漬物など地域性に富んだ料理が並ぶ。発酵食品の鯖のなれ寿司は善徳寺・瑞泉寺の仏事に伴って提供される。これらは地域の食文化として根付いている。

浄土真宗の教えに触れ宗教色の強い作品を残したのが、世界的な板画家の棟方志功である。棟方は戦時中に福光に疎開し、真宗の盛んな風土に触れることで代表作を数多く残した。

浄土真宗への厚い信仰は、今日まで続く技術・食文化などを生み、南砺の特徴を示す文化をもたらした。



### ⑦ 信仰の象徴－多彩な祭礼行事－

信仰の象徴として祭礼行事がある。南砺では多彩な祭礼行事が行われ特徴の一つとなっている。神社祭礼として春季・秋季に舞われる市内さまざまな獅子舞をはじめ、神輿巡行にお供して渡御する山・鉾・屋台・行燈行事が代表的である。南砺の山・鉾・屋台・行燈行事は江戸時代から続くものであり、当時の町の経済力と在人の工人の技術の粋が集められた精巧・優美なものへと発展し、現在でも祭礼の形式や高い工芸技術などがよく残っている。

真宗寺院の行事としては親鸞の命日前後に行われる報恩講が代表的で信者にとっては大事な仏事となっている。また善徳寺ではちよんがれ踊りなどを奉納する一心講がある。

こうした祭礼行事は、地域の文化を吸収して地域色が豊かになり、祭を支える地域コミュニティとともに現代へと受け継がれている。

# 関連文化財群の構成文化財一覧

## ①悠久の原風景－五箇山合掌造り集落と散居村－

1	越中五箇山相倉集落	平	国・世界遺産	遺跡(史跡)
2	南砺市相倉伝統的建造物群保存地区	平	国選定	伝統的建造物群
3	越中五箇山菅沼集落	上平	国・世界遺産	遺跡(史跡)
4	南砺市菅沼伝統的建造物群保存地区	上平	国選定	伝統的建造物群
5	村上家住宅	平	国	建造物
6	上梨集落合掌造り家屋群	平	未指定	建造物
7	岩瀬家住宅	上平	国	建造物
8	行徳寺の庫裡と山門	上平	市	建造物
9	羽馬家住宅	平	国	建造物
10	羽馬家住宅	上平	県	建造物
11	東赤尾山本家住宅	上平	未指定	建造物
12	皆葎山本家住宅	上平	未指定	建造物
13	小原集落合掌造り家屋群	上平	未指定	建造物
14	漆谷宝引荘	上平	未指定	建造物
15	合掌の里合掌造り家屋群	上平	未指定	建造物
16	利賀芸術公園合掌造り家屋群	利賀	未指定	建造物
17	散居村	平野部	未指定	文化的景観
18	屋敷林(カイニョ)	平野部	未指定	文化的景観
19	アズマダチ	平野部	未指定	建造物



越中五箇山相倉集落



越中五箇山菅沼集落

## ②南砺の自然が織りなす景勝と天然記念物の妙

1	遠洞溪谷	平	市	名勝地(名勝)・地質鉱物
2	天柱石	平	市	名勝地(名勝)・地質鉱物
3	猫池とその周辺	平	市	名勝地(名勝)・地質鉱物
4	中江の霊水	平	市	名勝地(名勝)・地質鉱物
5	長瀬峡	福光	市	名勝地(名勝)
6	夫婦滝	城端	市	名勝地(名勝)
7	脇谷のトチノキ	利賀	国	植物
8	坂上の大杉	利賀	県	植物
9	柳谷の天然福寿草自生地	井口	県	植物
10	縄が池みずばしょう群生地	城端	県	植物
11	赤祖父石灰華生成地	城端	県	地質鉱物
12	鱒山越の彼岸桜自生地	城端	県	植物
13	鉢伏のなしのき	城端	県	植物
14	医王山のソロバン玉石	福光	市	地質鉱物
15	高師小僧	福光	市	地質鉱物
16	林道の炭酸孔	城端	市	地質鉱物
17	立野ヶ原遺跡群出土石器群	福光・城端	一部県	考古資料
18	珪石(福光砒)	福光	未指定	地質鉱物
19	桑山石	福光	未指定	地質鉱物



天柱石



夫婦滝



遠洞溪谷

## ③いにしへの遺跡が語る交流と暮らし

1	立野ヶ原遺跡群	福光・城端	未指定	埋蔵文化財
2	立野ヶ原遺跡出土品	福光・城端	一部県	考古資料
3	人母シモヤマ遺跡	福光	市	遺跡(史跡)
4	竹林遺跡	福光	市	遺跡(史跡)
5	竹林遺跡の土偶	福光	市	考古資料
6	東中江遺跡	平	未指定	埋蔵文化財
7	西原遺跡	城端	市	遺跡(史跡)
8	矢張下島遺跡	利賀	未指定	埋蔵文化財
9	井口遺跡	井口	未指定	埋蔵文化財
10	北谷古窯群	福光	未指定	埋蔵文化財
11	中宮谷古窯群	福光	未指定	埋蔵文化財
12	広谷窯跡	福光	未指定	埋蔵文化財
13	ハクラクデン窯跡	福光	未指定	埋蔵文化財
14	安居窯跡群	福野	未指定	埋蔵文化財
15	高瀬遺跡(石仏地区)	井波	国	遺跡(史跡)
16	高瀬遺跡(六田地区)	井波	県	遺跡(史跡)
17	大学寮勸学院田跡	井波	市	遺跡(史跡)



高瀬遺跡



人母シモヤマ遺跡

## ④門前町・市場町と五箇山の産業が紡いだ交流文化

1	旧五箇山街道峠道	城端・平	市	遺跡(史跡)
2	栃原峠(道)	井波・利賀	未指定	遺跡(史跡)
3	朴坂峠(道)	福光	市	遺跡(史跡)
4	小瀬峠(道)	上平	未指定	遺跡(史跡)
5	五箇山の塩硝づくり	平・上平・利賀	未指定	無形民俗文化財
6	五箇山和紙	平・上平・利賀	未指定	無形民俗文化財
7	五箇山の養蚕業	平・上平・利賀	未指定	無形民俗文化財
8	五箇山民謡	平・上平・利賀	国選定	無形民俗文化財
9	城端のまちなみ(旧町部)	城端	未指定	伝統的建造物群
10	城端別院善徳寺	城端	県・市	建造物
11	城端織物組合事務棟	城端	国登録	建造物
12	じょうはな庵	城端	国登録	建造物
13	荒町庵(旧米田楼)	城端	国登録	建造物
14	桂湯	城端	国登録	建造物
15	旧野村家住宅一番蔵・二番蔵・雑蔵	城端	国登録	建造物
16	城端町絵図	城端	市	古文書
17	城端絹織物	城端	未指定	無形民俗文化財
18	井波のまちなみ(旧町部)	井波	未指定	伝統的建造物群
19	井波別院瑞泉寺	井波	県・市	建造物
20	齋賀家住宅	井波	国登録	建造物
21	八日町通り	井波	未指定	伝統的建造物群
22	井波の蚕堂	井波	市	建造物
23	井波の蚕種業	井波	未指定	無形民俗文化財
24	福野のまちなみ(旧町部)	福野	未指定	伝統的建造物群
25	藩政期の福野町絵図及び巡見上使宿舎絵図	福野	市	古文書
26	福野絹	福野	未指定	無形民俗文化財
27	福光のまちなみ(旧町部)	福光	未指定	伝統的建造物群
28	知源寺	福光	未指定	遺跡(史跡)
29	福光御蔵跡	福光	未指定	埋蔵文化財包蔵地
30	福光曾代糸	福光	未指定	無形民俗文化財



井波のまちなみ

# 関連文化財群の構成文化財一覧

## ⑤南砺に根付いた信仰と歴史

1	高瀬神社	井波	市	遺跡(史跡)
2	医王山山岳宗教施設跡	福光	一部市	遺跡(史跡)
3	安居寺	福野	市	建造物
4	白山宮本殿	平	国	建造物
5	白山宮信仰関係資料	平	市	歴史資料
6	瑞泉寺	井波	県・市	建造物
7	紙本墨書緯如上人勸進状	井波	国	書跡
8	白浪水	井波	市	遺跡(史跡)
9	井波城址	井波	市	遺跡(史跡)
10	大谷廟	井波	市	遺跡(史跡)
11	栃原念仏道場跡	利賀	市	遺跡(史跡)
12	栃原念仏道場什物	利賀	市	歴史資料
13	善徳寺	城端	県・市	建造物
14	善徳寺文書	城端	県	古文書
15	善徳寺宝物	城端	県	彫刻・絵画・有形民俗文化財
16	善徳寺跡	福光	未指定	埋蔵文化財
17	砂子坂道場跡	福光	未指定	埋蔵文化財
18	土山御坊跡	福光	市	遺跡(史跡)
19	高木場御坊跡	福光	未指定	埋蔵文化財
20	福光城址栖霞園	福光	市	遺跡(史跡)
21	田屋川原古戦場	福野	市	遺跡(史跡)
22	石黒墳墓	福野	市	遺跡(史跡)
23	樋瀬戸の念仏道場	福光	市	建造物
24	砂子坂末寺之覚帳	福光	市	古文書
25	五谷山西勝寺	利賀	市	遺跡(史跡)
26	五箇山の念仏道場	平	県	建造物
27	木造阿弥陀如来立像(下梨瑞願寺)	平	市	彫刻
28	瑞願寺文書	平	市	古文書
29	行徳寺の山門と庫裡	上平	市	建造物
30	旧上中田の念仏道場	上平	県	建造物
31	十日講起請文	上平	市	古文書
32	血染めの名号	上平	市	古文書
33	顕如書状	城端	市	古文書
34	蓮如書状	福光	市	古文書
35	実如書状	福野	市	古文書
36	朴坂峠	福光	市	遺跡(史跡)
37	栖霞の松跡	福野	市	遺跡(史跡)
38	池尻中世石塔群	井口	市	考古資料
39	井口城跡	井口	市	遺跡(史跡)
40	報恩講	全体	未指定	無形民俗文化財



瑞泉寺



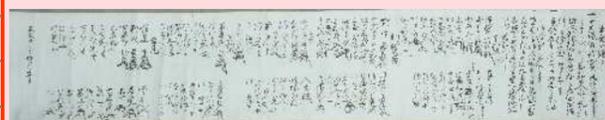
紙本墨書緯如上人勸進帳



善徳寺



田屋川原古戦場



十日講起請文

## ⑥厚い信仰心が生んだ生業・文化

1	井波彫刻	井波	未指定・日本遺産	無形文化財
2	瑞泉寺	井波	県・市	建造物
3	八日町通り	井波	未指定・日本遺産	伝統的建造物群
4	本町通り	井波	未指定・日本遺産	伝統的建造物群
5	五箇山の塩硝づくり	平・上平・利賀	未指定	無形民俗文化財
6	五箇山の養蚕業	平・上平・利賀	未指定	無形民俗文化財
7	十日講起請文	上平	市	古文書
8	報恩講	全体	未指定	無形民俗文化財
9	報恩講料理	全体	未指定	無形文化財
10	いとこ煮	全体	未指定	無形文化財
11	赤かぶの漬物	全体	未指定	無形文化財
12	よごし	全体	未指定	無形文化財
13	瑞泉寺の太子伝会	井波	未指定	無形民俗文化財
14	善徳寺の虫干し法会	城端	未指定	無形民俗文化財
15	さばずし	井波・城端	未指定	無形文化財
16	愛染苑	福光	未指定	遺跡(史跡)
17	鯉雨画齋	福光	未指定	建造物
18	福光美術館収蔵棟方志功作品群	福光	一部市	絵画
19	光徳寺	福光	未指定	遺跡(史跡)



井波彫刻



報恩講料理

## ⑦信仰の象徴－多彩な祭礼行事－

1	市内の獅子舞行事	全体	未指定	無形民俗文化財
2	城端神明宮祭の曳山行事	城端	未指定	無形民俗文化財
3	城端神明宮	城端	未指定	遺跡(史跡)
4	神輿	城端	市	工芸品
5	庵屋台	城端	市	工芸品
6	小原治五右衛門稀雄自画像	城端	市	絵画
7	荒木直暢自画像	城端	市	絵画
8	福野の夜高祭	福野	県	無形民俗文化財
9	福野神社春季祭礼曳山	福野	市	有形民俗文化財
10	福野神社	福野	未指定	遺跡(史跡)
11	福野神社遷座祭祝詞	福野	市	歴史資料
12	井波よいやさ祭	井波	未指定	無形民俗文化財
13	井波八幡宮	井波	未指定	遺跡(史跡)
14	福光春祭り	福光	未指定	無形民俗文化財
15	福光宇佐八幡宮	福光	未指定	遺跡(史跡)
16	下梨御巡幸の儀	平	市	無形民俗文化財
17	報恩講	全体	未指定	無形民俗文化財
18	城端千代加礼	城端	市	無形民俗文化財
19	福光ちょんがれ	福光	市	無形民俗文化財
20	瑞泉寺の太子伝会	井波	未指定	無形民俗文化財
21	善徳寺の虫干し法会	城端	未指定	無形民俗文化財



城端曳山祭



福野夜高祭

# 南砺市文化財保存活用地域計画措置一覧

基本方針	措置	No.	事業名	事業概要
南砺文化を知る	文化財の調査	1	指定文化財の調査	指定文化財の再評価・価値の明確化に向けた調査の実施
		2	登録有形文化財候補物件の調査	登録有形文化財の候補物件の把握調査や詳細調査を進める
		3	発掘調査の実施	市内の埋蔵文化財の本発掘調査や試掘調査を行い、その保護と活用に努める
		4	未指定文化財の把握調査	未指定の文化財の把握調査を行い、リスト化する。
	文化財の指定・登録	5	文化財保護審議会や各種専門委員会の開催	各専門分野有識者等の文化財保護行政に対しての審議・指導により文化財の価値づけを明確し、保護する
		6	文化財の指定	調査により明確に価値づけされた文化財を指定する
		7	建造物の登録	調査により明確に価値づけされた建造物を登録する
南砺文化を守る・受け継ぐ	文化財の管理・保存・整備・継承	8	指定文化財等のパトロール	指定文化財等の巡視を行い、文化財の状況を確認する
		9	指定文化財等の保存・整備・継承	指定文化財の修理・修繕や景観整備などを行うとともに、適切な継承のため現状変更等の申請を審議する
		10	文化財収蔵庫の整備・管理	文化財や埋蔵文化財の収蔵庫をそれぞれ集約し整理するための整備を行い、管理する
	保存活用計画の作成	11	保存活用計画の作成	指定文化財の適切な保存と活用を図るための計画を作成する
	文化財防災体制の整備	12	文化財防火訓練	指定文化財(主に建造物)の防火訓練を推進する
		13	指定文化財等の防災・防犯設備の整備・支援	所有者等が負担する指定文化財の防災・防犯設備の整備について支援する
		14	指定文化財の防災計画の作成	指定文化財の適切な防災体制を図るための計画を作成し、防災設備の更新・充実を図る
	担い手の育成	15	指定文化財等の保存・修理・整備のための支援	所有者等が負担する指定文化財の修理・修繕や景観整備について支援する
		16	後継者育成への支援	伝統行事・技術等の後継者育成のための支援を行う
		17	文化財伝統技術等後継者育成	文化財修理等をととして文化財に関する伝統技術を持つ人材の育成を図る
南砺文化を活かす・磨く	地域の連携強化	18	文化財調査・活用を行っている団体等との連携強化	指定の文化財調査・活用事業を行う団体を支援団体に指定し、連携して文化財保存活用体制づくりを推進する
		19	文化財愛護団体への支援	文化財の管理や整備などを行っている団体の取組みに対して支援を行う
		20	世界遺産等所有他自治体や文化財保護団体への連携	世界遺産を所有する他自治体や文化財保護団体と連携し、情報共有や適切な保存・活用を講じる
	歴史文化遺産の魅力発信	21	文化財関係手続き等の周知	文化財関係手続き等の周知を行って保存活用につなげる
		22	文化財説明板等の設置・整備	指定文化財の説明板・標柱の老朽化に伴う更新や新指定文化財の新設を推進する
		23	広報・HPへの定期的な情報発信	文化財の関心を高めるための情報発信を定期的に行う
		24	魅力的な祭礼の紹介動画の作成と発信	指定されている祭礼等のPR動画を作成し、魅力発信に努める
		25	文化芸術アーカイブズの充実	文化財を紹介する専用HPの内容を充実させ、完成度を高める
		26	民俗資料の公開	過去に調査した民俗資料のデータベース公開の継続
		27	文化財ガイドの育成・充実	文化財のガイドの育成・充実を図る
		28	企画展示の開催	文化財を身近に感じてもらうため、文化財に関する企画展を開催する
		29	文化財を活かしたイベント等の開催・支援	文化財を身近に感じてもらうため、文化財に関するイベント等を開催・支援する
		30	紹介リーフレットの作成	文化財群等の紹介やものがたりを感じることでできるリーフレットを作成する
		31	文化財周辺環境及び関連施設の整備・支援	文化財周辺環境及び関連施設の整備と支援を行う
	地域教育への普及啓発	32	小学校社会科副読本の改定	歴史文化遺産に興味を持つような副読本にするため学校教育の現場と連携して改定作業を行う
		33	文化財出前講座	文化財の存在や魅力を語る出前講座を実施し、市民の文化財への関心を高める
		34	文化財体験ワークショップの開催	ワークショップを通じ文化財の魅力を地域教育に活かす
	専門職員の配置	35	専門学芸員の充実・配置	美術館・博物館や埋蔵文化財センターなどの専門学芸員の配置を充実させ、体制を強化する。



### 南砺文化を知る

#### ①文化財調査の実施

文化財の詳細調査・埋蔵文化財発掘調査・未指定文化財把握のための調査を行う

- 福野夜高曳山行事総合調査、瑞泉寺建造物詳細調査、埋蔵文化財本調査、試掘調査、善徳寺古文書調査、棟方志功作品調査
- 取組主体 市・専門家・所有者・団体
- 計画期間 R6～11
- 当てはまる措置の番号 【1】 【3】 【4】



### 南砺文化を守る、受け継ぐ

#### ②指定文化財等の保存・整備・継承と支援

指定文化財を適切に修繕・整備して継承する、またはその取り組みを行う文化財所有者等への支援

- 相倉・菅沼合掌造り集落内の家屋保存修理工事  
重文合掌造り家屋保存修理工事  
合掌造り家屋等の防災設備点検等の管理への支援  
城端曳山等保存修理事業への支援
- 取組主体 市・専門家・所有者・団体
- 計画期間 R6～11
- 当てはまる措置の番号 【9】 【13】 【15】

### 南砺文化を活かす、磨く

#### ③文化財調査・保存・活用等を行っている団体等との連携強化

文化財調査・保存・活用を行っている民間団体等を支援団体として指定し、行政と民間との連携を強化して文化財の保存・活用に取り組む体制づくりを推進する

- 世界遺産相倉合掌造り集落保存財団、菅沼世界遺産保存組合等
- 取組主体 市・専門家・所有者・団体
- 計画期間 R6～11
- 当てはまる措置の番号 【18】



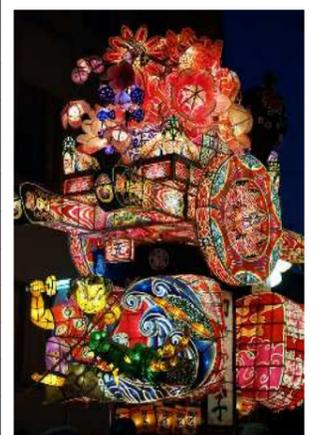
#### ④文化芸術アーカイブスの充実

文化芸術を紹介するアーカイブスHPの強化・充実

- 南砺市文化芸術アーカイブスの充実  
文化財紹介の連載、未指定文化財の紹介、市が取り組む事業の紹介など
- 取組主体 市・専門家
- 計画期間 R6～11
- 当てはまる措置の番号 【25】

# 関連文化財群の措置一覧 (赤字は重点事業)

関連文化財群	事業 No.	事業名	事業概要
① 悠久の原風景－五箇山合掌造り集落と散居村－	1	南砺市伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催	歴史的風致をなす伝統的建造物群と景観を保全するための事項を継続的に審議する
	2	長期計画による相倉・菅沼集落保存修理	五箇山相倉・菅沼集落において茅葺き屋根の葺き替えなど恒久的な保存修理を計画的に実施する
	3	相倉・菅沼集落防災設備更新	五箇山相倉・菅沼集落において防災設備の老朽化に伴う更新
	4	相倉・菅沼集落の防災計画の作成	防災計画を作成するとともに防災設備の更新・充実を図る
	5	相倉・菅沼集落指定文化財管理への支援	五箇山相倉・菅沼集落において防災設備点検や屋根雪下ろしなど家屋の維持管理にかかる所有者負担に対して支援する
	6	白川村をはじめとする世界文化遺産所在地域との連携	白川村及び世界遺産が所在する他自治体などと連携し、情報共有や適切な保存・活用を講じる
	7	茅葺き屋根家屋の保存修理	重要文化財等の茅葺き屋根の葺き替えなど恒久的な保存修理を計画的に実施する
	8	茅葺き屋根家屋の保存修理への支援	重要文化財等の茅葺き屋根の葺き替えなど恒久的な保存修理を行う所有者負担に対して支援を行う
	9	認定合掌造り家屋制度による保存活用等の推進	認定合掌造り家屋(指定・未指定)への建築基準法適用除外等による保存活用等の推進かつ支援を行う
	10	南砺市五箇山景観審議会の開催	五箇山の景観を保全するための事項を継続的に審議する
	11	世界遺産緩衝地帯の保全	世界遺産の緩衝地帯の保全の推進・届出制度の周知を徹底する
	12	世界遺産マスタープランの改定	世界遺産を保存・活用する基本計画である世界遺産マスタープランを現状に即し改定を行う
	13	交通バス等のルート整備・充実	新高岡駅から城端駅を経て五箇山に至るバスルートの整備・充実への支援
	14	茅場の整備への支援	茅葺き屋根の保存のため茅場の造成事業や維持管理に対して支援する
	15	移住プロジェクトの実施	五箇山地域への移住の促進に取り組む
	16	アズマダチの把握調査	市内のアズマダチの把握調査の実施
	17	散居景観保全事業の実施	散居村の景観保全のための支援を行う
② 南砺の自然が織りなす景勝と天然記念物の妙	1	天然記念物のドクターチェック	樹木医等専門家による天然記念物の状態調査の実施
	2	盗掘・損壊等対策パトロールの強化	天然記念物の盗掘や損壊等を防止するためのパトロールを行う
	3	天然記念物の周辺整備	天然記念物の周辺の草刈りやゴミ取りなど環境整備を行う
	4	名勝・天然記念物の魅力発信	文化芸術アーカイブスに名勝・天然記念物の魅力を発信する
③ いにしへの遺跡が語る交流と暮らし	1	埋蔵文化財発掘調査	市内の埋蔵文化財の本発掘・試掘調査を行い、その保護と活用に努める
	2	埋蔵文化財包蔵地の周知	市内に所在する埋蔵文化財包蔵地の周知に努め、適切な保存と活用を図る
	3	高瀬遺跡保存活用計画の策定	高瀬遺跡の適切な保存・活用を図るための計画を作成する
	4	高瀬遺跡菖蒲まつりの開催	国史跡高瀬遺跡において活用と魅力発信のためのイベントを開催する
	5	古代体験ワークショップの開催	火おこしや勾玉づくりなど古代体験のワークショップを開催する
④ 門前町・市場町と五箇山の産業が紡いだ交流文化	1	伝統的なまちなみ(建造物)の調査研究	旧町部のまちなみを構成する建造物を調査し、総合的な把握調査に取り組む
	2	伝統的なまちなみの空家等の利活用の促進	旧町部のまちなみの空家の情報収集と利活用の検討・支援
	3	伝統的なまちなみの景観づくりへの支援	旧町部のまちなみを活かした取組みに対する支援
	4	和紙生産などの伝統技術の継承支援	美術工芸品保存修理に必要な和紙生産のため、原料栽培に対して技術指導・用具購入などの支援を行う
	5	五箇山和紙の発信	和紙作り体験等のワークショップを開催する
	6	峠道の整備等への支援	文化財愛護団体等が行う峠道等の整備への支援を行う
⑤ 南砺に根付いた信仰と歴史	1	瑞泉寺建造物の調査	井波別院瑞泉寺の建造物を調査し、さらなる価値の解明に取り組む
	2	指定文化財寺院建造物の維持管理への支援	指定文化財寺院の建造物の修理等に対する支援を行う
	3	県指定「善徳寺文書」の調査支援	県指定善徳寺文書の保存・活用を図るため、所有者が行う全容を解明する調査の支援を行う
	4	真宗寺院群の企画展の開催	真宗寺院・山城・史跡等の企画展示を開催する
	5	真宗寺院群の紹介リーフレットの作成	市内の真宗寺院群のものがたりを伝えるリーフレットを作成する
⑥ 厚い信仰心が生んだ生業・文化	1	日本遺産の情報発信	日本遺産の魅力や関連イベント等の情報発信を推進する
	2	井波日本遺産推進協議会との連携	井波日本遺産推進協議会との連携を強化し、保存継承と情報発信を図る
	3	報恩講料理等の食文化の普及啓発	報恩講料理等の紹介リーフレット等を作成する等食文化の普及啓発を行う
	4	棟方志功作品調査研究	棟方志功の作品の調査を継続的にを行い、作品の発掘とデータベース化を推進し、作品群の再評価に取り組む
	5	棟方志功の企画展の開催	継続的・定期的に棟方志功の企画展を開催しその魅力を発信する
⑦ 信仰の象徴－多彩な祭礼行事－	1	「南砺 獅子舞」事業の開催	獅子舞の保存継承のため関係団体と連携し関連イベントを開催する
	2	福野夜高曳山行事総合調査の実施	福野夜高行事と曳山行事の詳細調査を行って再評価を行う
	3	曳山保存修理への支援	曳山・庵屋台・夜高行燈の保存修理に対する支援を行う
	4	庵唄の後継者育成への支援	庵唄継承と育成のための支援を行う
	5	曳山等修理に関わる伝統技術の継承・育成の支援	曳山等修理をととして曳山修理に関わる伝統技術を持った職人を育成するため支援する
	6	市広報・HP等で山鉾屋台行事の魅力発信	市内の山鉾屋台行事の魅力を発信する
	7	曳山等製作に関わった職人の紹介	曳山等の製作に関わった職人を紹介する企画展等を実施する



# 南砺市文化財保存活用地域計画実施スケジュール

資料 2

令和3年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会	協議会の開催			説明・方針								骨子確認		
調整	文化財保護審議会										意見聴取			
	文化庁との調整			内容調整			現地視察			内容調整				
地域計画	序章 南砺市文化財保存活用地域計画				骨子作成									
	第1～3章 南砺市の概要等				骨子作成									
	第4章 基本理念と基本方針								基本理念と基本方針の設定					
	第5～7章 文化財保存・活用に関する課題・方針・措置								課題・方針・措置の洗い出しと整理					
	第8章 文化財の一体的・総合的な保存と活用(重点事業)								関連文化財群・文化相保存活用区域の設定					
	第9章 文化財の保存・活用の推進体制								骨子作成					
調査等	未指定文化財等(31地区アンケート)							把握調査	整理・リスト化					
	住民周知											HP作成		
令和4年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会	協議会の開催			確認				確認				確認		
調整	文化財保護審議会											意見聴取		
	文化庁との調整					内容調整				内容調整		内容調整		
地域計画	序章 南砺市文化財保存活用地域計画	骨子修正・素案作成										骨子完成	素案作成・修正・調整	
	第1～3章 南砺市の概要等													
	第4章 基本理念と基本方針													
	第5～7章 文化財保存・活用に関する課題・方針・措置													
	第8章 文化財の一体的・総合的な保存と活用(重点事業)													
	第9章 文化財の保存・活用の推進体制													
調査等	市民アンケート調査							調査・把握	整理・リスト化					
	住民周知							HP作成						
令和5年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会	協議会の開催		最終確認			報告								
調整	文化財保護審議会					意見聴取						報告		
	文化庁との調整	内容調整			調整									
地域計画	内容確認	案の最終調整												
	パブコメの実施			パブコメの実施			最終案完成	文化庁へ認定申請準備 文化庁で確認作業		計画完成	認定申請	認定		
	パンフレット作成						文化庁からの指導による 修正作業							パンフ印刷
	計画書印刷												印刷製本	